



中区のまちづくりの  
マスコットキャラクター  
「なかちゃん」

**おうち時間に！ 筋トレ動画**

江戸時代の広島に暮らす人々・動物のポーズを取り入れた「西国街道筋トレ」。当時の文化や暮らしにまつわる歴史話も！

## 平和を願う 希望の花

市内の小・中学校は、平和について考える学習を行っています。今回は基町小学校の、次世代を担う子どもたちによる平和への思いをつないでいく取り組みを紹介します。

園区政調整課(☎504-2543、FAX 541-3835)



### 焦土に咲いたカンナの花

**創** 立50周年を迎える市立基町小学校。今年6月、初めての取り組みとして同校と市営基町高層アパートの間の歩道に、地域の皆さんと児童が共同でカンナを植えました。

昭和20年9月、被爆からわずか1カ月後に、焦土と化した基町地区の現在の同校南門付近にカンナが咲き、人々に勇気と希望を与えたと言われており、同校ではカンナは平和の象徴として親しまれています。



被爆直後の基町  
(撮影者:川本俊雄  
提供者:川本祥雄)

### カンナから学ぶ命と平和

カンナの植栽の日、「子ども平和集会」を校内テレビ放送で行い、その中で2年生が「なぜ同校でカンナが大切にされてきたのか」を全校児童に向けて発表しました(上写真左上)。発表を聞いた4年生の赤部蓮人君と丸山菜々美さん(右下写真)は「75年は草木も生えないと言われていたのに、爆心地からとても近いこの場所にカンナが咲いていたことに驚きました。力強くカンナが咲いたおかげで広島の人々も頑張られたんだと思います」と真剣な表情で話します。



### 平和への思いをカンナに託して

創立50周年を記念し、地域の皆さんに支えられてきた恩返しと平和への思いを込めて歩道に植えられたカンナ。同校の神原久美子校長(下写真)は「本校では、被爆樹木を軸にした平和教育を進めています。今年の『子ども平和集会』では、カンナを通して平和について考えました。これまで、たくさんの人に支えられてきた感謝の気持ちや命の大切さを、子どもたちに考えてもらえればと思います。また、生命力のある美しいカンナを見て、地域の皆さんの心が和み、明るい気持ちになっていた



だけばうれしいです」と笑顔で語ります。

地域で児童の見守り活動を行っている中村和正さん(右下写真)も「花が咲いたとき、地域の皆さんも喜んでくれると思います。非常に感謝しています。子どもたちの思いが込められたカンナをみんなで見守って地域がつながり、次の世代へ平和の願いを受け継いでいってほしいです」と話します。



被爆から76年、被爆の記憶や、命と平和の大切さは、子どもたちに着実に引き継がれています。

### ご自宅で カンナを植えてみませんか

カンナは暑さに強く、花の少なくなりがちな夏の花壇を華やかに演出できるお薦めの植物です。皆さんも平和への思いを込めてカンナを植えてみませんか。

#### 育て方のポイント

日当たりと水はけのよい肥沃な土地を好むので、元肥をしっかり与え、鉢植えでは10月まで追肥をします。冬場に株が痛まないように枯草などで株元を厚く覆い、遅霜の心配がなくなった晩春に株分け(2~3芽が残るように根茎を切り分ける)や植え替えをすると良いでしょう。



市植物公園職員  
久保晴盛さん

### 開催中 基町写真展 2021



オンライン鑑賞  
はこちらから

基町小学校創立50周年にちなみ、同校の懐かしい風景や基町地区の皆さんに提供いただいた日常風景などの写真展をオンラインで開催中。モトマチ・アートウィンドウ(基町ショッピングセンター南側)で鑑賞もできます。

回 8月22日(日)まで  
園基町プロジェクト活動拠点\* M98(☎555-8250)へ  
\*中区役所と市立大学が連携し、アートによる基町地区の魅力づくりや活性化を目指す取り組みです

